

議会報告会報告書

平成24年5月2日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

A班

代表 伊藤 實

平成24年3月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成24年4月20日（金）19:00～20:40

2 開催場所

保健センター

3 参加人数（市民）

8 人

4 担当班議員名

（ 中村博行 ）（ 下瀬俊夫 ）（ 硯谷篤史 ）（ 伊藤 實 ）
（ 岩本信子 ）（ 石田清廉 ）（ 平原廉清 ）

5 報告会次第

- (1) 市議会議長挨拶
- (2) 3月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - ④ 一般会計予算審査特別委員会
- (3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 新橋の件、イ矢板の全長は、ロ何m打ち込んだ、ハ打ち込みの工法は、工事の仕様書は見たか。

[回 答]

イ6m、ロ4m、ハわからない、ニ見っていない

- ② 山陽地区公共施設再編に関し、建て替えるのであれば、皆が使いやすいゆとりがあるところに建てて欲しい。

[回 答]

再編候補は総合事務所、図書館、厚狭公民館、勤労センターなどがある。

総合事務所のところには、公民館、図書館と体育館を作る計画である。

- ③ (②の続き) ある程度のベースができた時点で、市民に話しかけをすべきだ。議員が市民に対して意見を求めて欲しい。要は市民にとって使いやすいものにして欲しい。

[回 答]

先日複合施設の説明会が、利用者団体に対してあった。委員会でも、市民の意見を吸い上げて構想を決めなさいと言っている。

総合事務所のところに公民館、厚狭図書館、体育館を作る件も色々な意見も出ているので、執行部もまた話し合いを持つと思う。議会もしたいと思う。色々な意見を吸い上げながら良いものを作る。

- ④ 4月1日の図書館人事を見て驚いた。4人中3人が変わり、素人がきた。こんな人事は企業では無い。誰がこんな人事をするのか。

[回 答]

このことは議会でも執行部に対し口すっぱく言っている。同感の部分も多く、委員会としても執行部へ要望する。

- ⑤ 24年度一般会計予算に対する附帯決議について

イ 算定された交付税の目的に沿った予算充当をすること、とは如何なることか。

ロ 自主財源、一般財源の比率とはいかなることか。

[回 答]

イ 例えば小・中の図書費は県の方から年間2～3千万円、5年間にわたり交付税措置がなされている。実際は教委で小・中の図書の購入費として使われるべきだが、特定財源でないので流用しようと思えば出来る。実際に当市はほとんど使っていない。私は県教委から直接言われました「山陽小野田市はほとんど活用していない。もっと使うべきではないか」と。それはなぜならば、財源を他に回し

ているのです。だから小・中学生の本を買いなさいという交付税措置がされたなら、少なくともそれを使うような財政状況にすべきではないか、ということを行っているわけである。

ロ 自主財源が半分以下にならないように、なぜかと言えば企業でも他人資本が多ければ多いほどその企業は財政状況が厳しいわけです。自主財源が増えるようにすべきではないか。先ほども言ったように、事業によっては一般財源を投入してでもしなければならぬ、お金がないから出来ません、というようなことは如何なものかという意味合いで言っているわけである。

- ⑥ 図書費が少ないのでPTAで買おうかと検討していたら、学校から柔道着を買ってほしいとの要望があったが。

[回 答]

PTAで買えるところもあるが、小規模校では買えないなどPTAの事情も異なる。この問題は委員会で集中審議する予定。財源措置を教委へ要望する。